

教育目標

志の涵養

自らの知性と人間性を高め、社会に貢献しようとする人材の育成

全教育活動を通じて高めていく資質・能力

自律(自分で考え、自分の意志で行動する)

互敬(互いのよさや持ち味を認め合い、尊重し合う)

教育目標を具現するための方策

質の高い授業実践

- ・6年間の連続性を生かしたカリキュラム編成
- ・生徒が本気になる『問』のある授業実践
- ・生徒が自己の変容を自覚できる『対話』のある授業実践
- ・生徒が学びの深まりを実感できる振り返り

知性 豊かな人間性 高い志

ダイバーシティ教育の推進

- ・人権感覚を養う多様な他者との交流活動
- ・道徳的判断力を養う道徳的課題についての議論
- ・支持的風土の醸成を土台とした集団作り

キャリア教育の充実

- ・アセスメントテストの有効活用
- ・発達段階に応じた進路講演会の開催
- ・県内外での大学訪問の実施
- ・卒業生やビジネスリーダーとの交流会

探究学習の重視

- ・6年間発達段階に応じた一貫性のある指導
- ・社会人による探究活動サポート
- ・共通のテーマをもつ仲間ゼミの実施
- ・情報収集能力や情報伝達能力の向上
- ・目指す姿が見える化したルーブリックの活用

グローバル人材の育成

- ・英語力の向上
- ・他国の学生と直接コミュニケーションを取る異文化体験
- ・異文化理解を深める他国の文化や歴史に触れる体験的な学び
- ・国際感覚を養う国際交流活動への参加

保護者・地域・産官学との連携

レジリエンス

- ・生徒が自己決定する場の提供
- ・生徒へのポジティブなフィードバック

次代のリーダー

- ・生徒が諸課題を協働しながら解決する活動の提供
- ・職場体験やインターンシップの機会の提供